

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 19 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 12 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問 20 にお進みください。

この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問 19-1 へ 2. なかった ⇒ 問 20 へ

問 19-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください。数字は一枠に一字。）。

1 年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	□ □ 日
イ. 母親が休んだ	□ □ 日
ウ. （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	□ □ 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□ □ 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	□ □ 日
カ. ベビーシッターを利用した	□ □ 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	□ □ 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日
ケ. その他（ ）	□ □ 日

問 19-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 19-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □ □ 日
2. 利用したいとは思わない

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を
伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 20 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。また、今後の利用意向について
もご記入ください。

利用している事業・日数（年間）	今後の利用意向
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）	☐ ☐ 日 ある ない
2. 幼稚園の延長保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	☐ ☐ 日 ある ない
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	☐ ☐ 日 ある ない
4. ベビーシッター	☐ ☐ 日 ある ない
5. その他（ ）	☐ ☐ 日 ある ない
6. 現在利用していない、今後も利用意向はない	

問21 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	日
ウ. 不定期の就労	日
エ. その他（ ）	日
2. 利用する必要はない	



この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	泊
	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	泊
	ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等) を利用した	泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	泊
	カ. その他()	泊
2. なかった		

宛名のお子さんの小学校就学後の放課後の
過ごし方についてうかがいます。

問 23 宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）０９時３０分、１８時１５分のように２４時間制・１５分単位でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事（サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 放課後子ども教室 ※1	週 日くらい
5. 学童クラブ ※2	週 日くらい → 下校時から 時 分まで
6. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週 日くらい

※1「放課後子ども教室」… 地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。伊那市では一部の小学校で実施（事業主体：学校）

※2「学童クラブ」… 保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料（添付の料金表参照）がかかります。

問 24 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）09時30分、18時15分のように24時間制・15分単位でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※だいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週		日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週		日くらい
3. 習い事（サッカークラブ、学習塾など）	週		日くらい
4. 放課後子ども教室	週		日くらい
5. 学童クラブ	週		日くらい →
		下校時から	時 分まで
6. ファミリー・サポート・センター	週		日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週		日くらい

問 25 問 23 または問 24 で「5. 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料（添付の料金表参照）がかかります。

（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時30分～18時15分のように24時間制・15分単位でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		時 分から 時 分まで

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		時 分から 時 分まで



□ □ 時 □ □ 分まで

すべての方に、育児休業などについてうかがいます。

問 27 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親	父親
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも） ▲	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも） ▲

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しかった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育園などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他()

問 27 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 28 へ

問 27-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

問 27-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 27-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

問 27-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

実際の取得期間 歳 ヶ月	希望 歳 ヶ月
---	--

(2) 父親

実際の取得期間 歳 ヶ月	希望 歳 ヶ月
---	--

問 27-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

歳 ヶ月

(2) 父親

歳 ヶ月



問 27-5 実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(1)「希望」より早く復帰した方

①母親

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他（ ） | |

②父親

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他（ ） | |

(2)「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他（ ） | |

②父親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他（ ） | |

問 27-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） |

(2) 父親

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） |

問 27-7 問 27-6 で、「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

問 27-8 問 27-1 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

(2) 父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

問 28 すべての方にうかがいます。現在のあなたの考えにもっとも近いものをお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。対象のお子さんが 1 歳以上のときは、0 歳児だったときのことを振り返り、お答えください。

1. 育児休業制度が整っていれば、今後1年以上は在宅で子育てをしたい。
2. 一時預かりなど、不規則な保育サービスを利用できれば、今後1年以上は在宅で子育てをしたい。
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したいので、保育サービスを利用したい。

すべての方に、宛名のお子さんの家庭での様子や
子育てについてうかがいます。

問29 20時（午後8時）以降、宛名のお子さんと外出することがあります。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. よくある	2. ときどきある	3. ほとんどない	4. 全くない
問29-1 へ			↓ 問30 へ

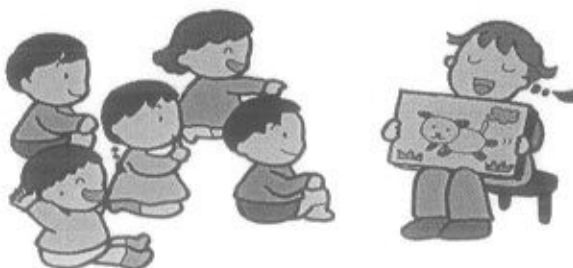
問29-1 20時（午後8時）以降、宛名のお子さんと外出するところはどこですか。当てはまる番号全てに○をつけてください。

また、何時頃までいますか。時間は、（例）21時30分のように、24時間制・30分単位でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。

外出先	いる時間
1. レンタルショップ	□□時 □□分頃まで
2. コンビニ	□□時 □□分頃まで
3. ゲームセンター	□□時 □□分頃まで
4. 飲食店	□□時 □□分頃まで
5. カラオケボックス	□□時 □□分頃まで
6. 量販店	□□時 □□分頃まで
7. 習い事	□□時 □□分頃まで
（習い事の種類：ピアノ等・・・）	
8. その他	□□時 □□分頃まで
（その他：具体的に）	

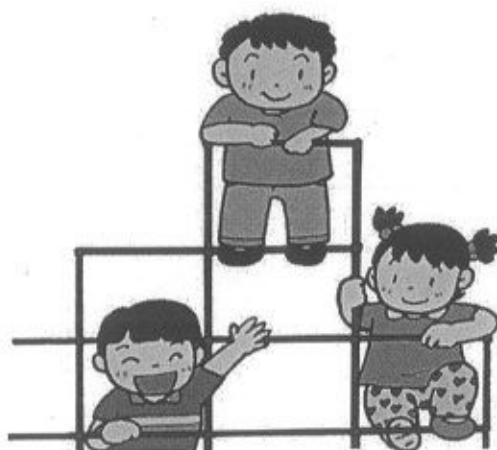
問30 伊那市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い	←————→	満足度が高い		
1	2	3	4	5



問 31 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。



〒396-8617

伊那市下新田 3050 番地

伊那市保健福祉部 子育て支援課 保育係

TEL:78-4111 (内線 2324・2326)

FAX:73-4151